

バルク供給設備の技術上の基準

添付させること

1 貯槽の設備状況	コンクリート基礎上 地上設置 等
<div>&lt;規則第 19 条第 3 号イ&gt; バルク貯槽は特定設備検査合格証又は特定設備基準適合証を有するものであること。</div>	
2 貯槽の適合性	特定設備検査合格証（発行番号〇〇〇〇）を添付 等
3 保安距離	①第 1 種保安距離（法定 1. 5 m 構造壁等又は埋設設置 0 m） 実際距離 1. 2 m 保安物件の名称 〇〇小学校 ②第 2 種保安距離（法定 1. 0 m 構造壁等又は埋設設置 0 m） 実際距離 1 0 m 保安物件の名称 一般住宅
4 構造壁等	壁の構造 材料 コンクリートブロック 寸 法 （高さ） 3. 0 m （幅） 4. 0 m <div>&lt;バルク供給・充てん設備告示第 2 条&gt;</div>
5 貯槽の表示	L P ガス・火気厳禁（朱書）、緊急連絡先 <div>&lt;規則第 19 条第 3 号ハ(9) (10)&gt; 液化石油ガス又は L P ガス及び火気厳禁と朱書き。緊急連絡先を表示</div>
6 腐食防止措置	貯槽下地処理、錆止め塗装 2 回、上塗り塗装 2 回 基礎の高さ地盤面から 5 c m 以上打設 等 <div>基礎部分が写った写真を添付させること</div>
7 転倒防止等の措置	アンカーボルト固定 等
8 プロテクター内のガス漏れ検知器の設置等	バルク用警報器 〇〇〇〇設置 等 <div>&lt;バルク供給・充てん設備告示第 15 条第 2 項&gt; ガス漏れ検知器を設置しない場合は、その理由を記載すること。 （例）漏えいの有無の確認を、3 月に 1 回以上実施するならば、貯蔵量に関係なく設置しなくてもよい。</div>
9 火気等との距離	①火気等との距離 〇〇 m（駐車場まで） 等 ②火気距離が 2 m 以内 防火壁等の設置の有無